

草津白根山

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

平成19年12月1日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図2）

逢ノ峰（湯釜の南約1km）に設置してある遠望カメラでは、噴気等、特段の変化は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図3※、図4-①）

山頂火口付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図4-②③④）

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

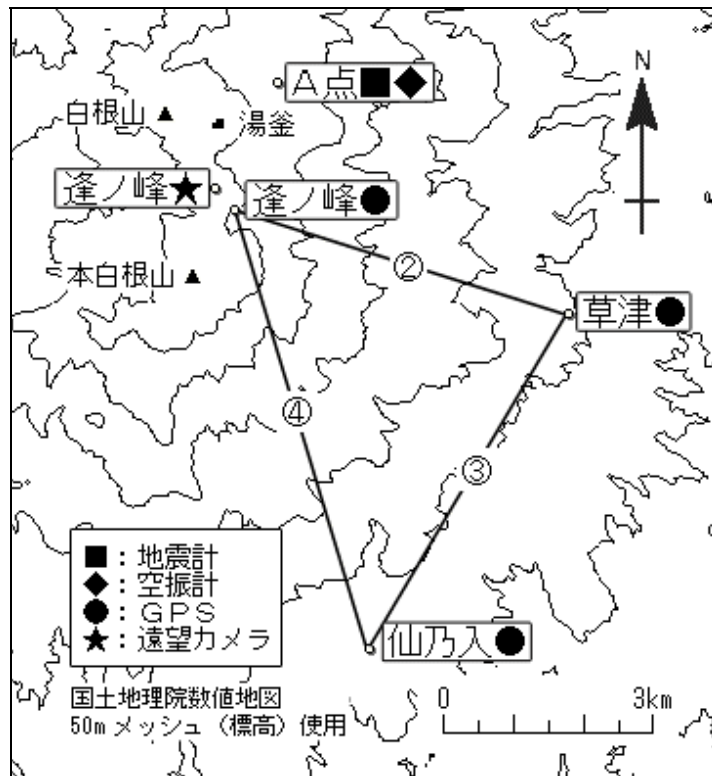


図1 草津白根山 気象庁の観測点配置図

（小さな白丸は観測点位置を示しています）

GPS基線②～④は図4の②～④に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成20年1月分）は平成20年2月7日に公表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平17総使、第503号）。



図2 草津白根山 湯釜付近の状況
(12月27日、逢ノ峰遠望カメラによる)

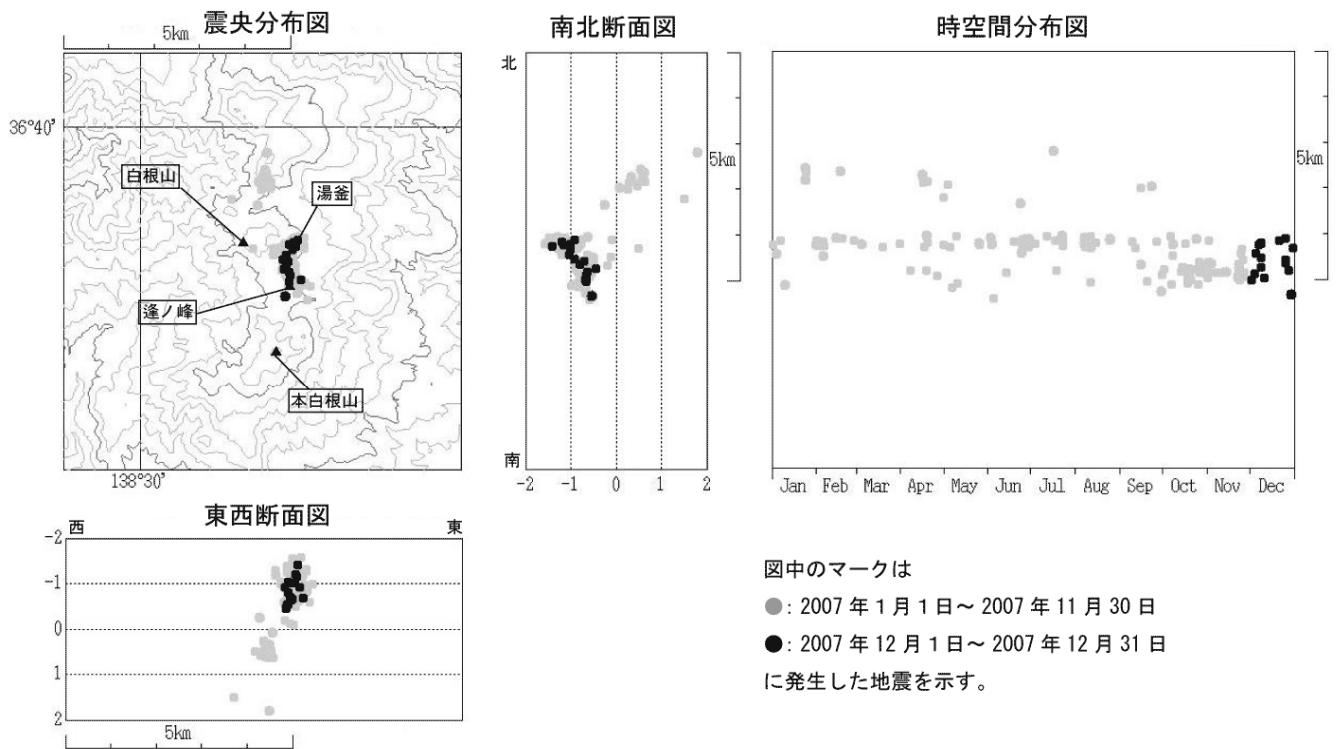


図3※ 草津白根山 火山性地震の震源分布（2007年1月1日～2007年12月31日）

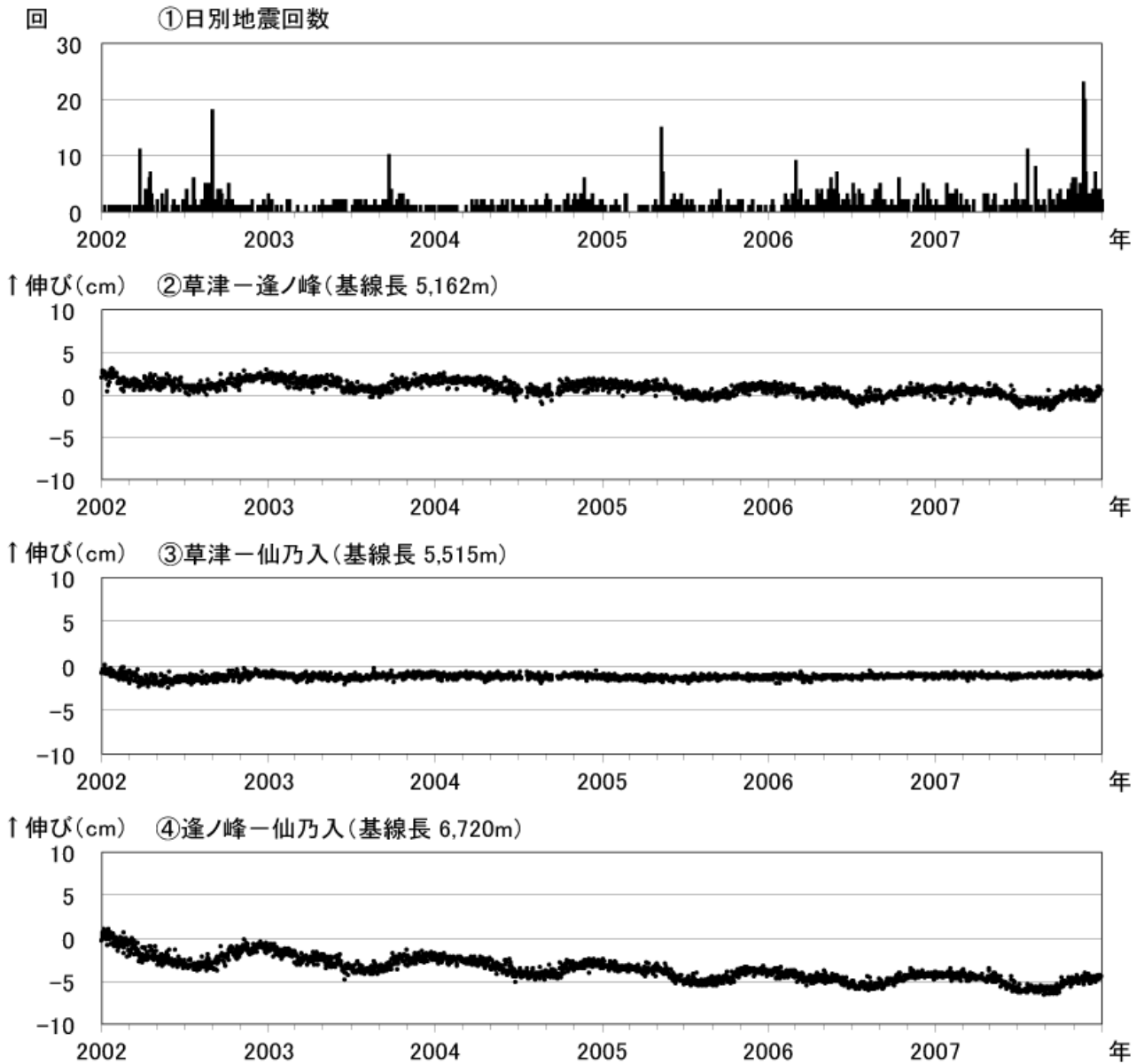


図 4 草津白根山 最近の火山活動の推移（2002 年 1 月～2007 年 12 月）

① 山体付近に発生した地震の日別回数

②～④ GPS 連続観測による基線長変化

基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

②～④は図 1 の GPS 基線②～④に対応しています。